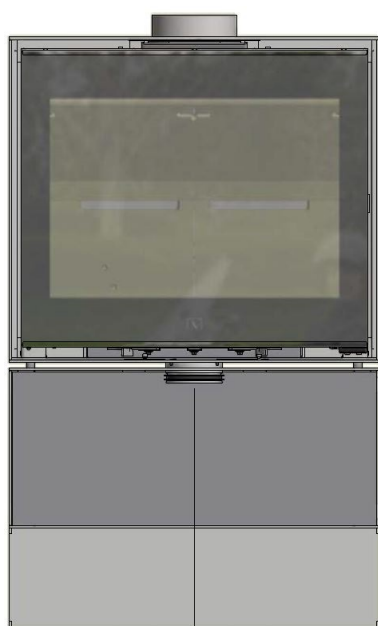


Scan 1003

Scan 1003

Scan機種別取扱説明書



Scan 1003

目次

1. 正しく安全にお使いいただくために
2. 製品仕様
3. 薪について
4. 各部操作方法
 - ・ フロントドアの開閉
 - ・ クイックベント(焚き付け専用のレバー)の開閉
 - ・ 燃焼調整
5. メンテナンスについて
 - ・ 扉のガスケットの取替え
 - ・ ガラスのお手入れ
 - ・ バーンプレート・バツフルのお手入れ
6. 温度計について
7. 参考図
8. パーツリスト

1. 正しく安全にお使いいただくために

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管して下さい。

- ・ コーシオンプレートと保証書は大切に保管して下さい。スキャンクオリティーシステムのサービスやメンテナンスを受ける際にご提示いただく場合があります。
- ・ 本体及び煙突は高温となります。直接手で触れないようにし、扱う際は必ず耐火製のグローブを着用して下さい。
- ・ 正しく使用されない場合、火災事故や火傷や死亡事故につながる場合があります。
- ・ 使用時に薪がはぜる(火の粉が飛ぶ)ことがあります。必ず本体扉を閉めてお使い下さい。
- ・ 安全にお使いいただくために、定期的なメンテナンスを行って下さい。

スキャンの製品は、生産物賠償責任制度に加入しています。

2. 製品仕様

製品名	Scan 1003 スタンダード
本体寸法	幅 649×奥行 479×高さ 1037
重量	181kg
最小出力	3.0Kw(2580kcal/h)
定格出力	7.2kW(6192kcal/h)
最大出力	9.0kW(7740kcal/h)
薪長	50cm
暖房面積	～140 m ² (42 坪)
適切な薪量	2.2kg/h(定格出力より算定) <T4>
燃焼方式	クリーンバーン(2 次燃焼方式)
煙突径	150mm
煙突方向	上・後
本体カラー	ブラックペイント
試験データ EN13240	
燃焼効率	80% 7.2 kW
推奨ドラフト値	16-18 Pa
CO at 13%O2	0.07%/832mg/N m ³
NOx at 13%O2	95 mg/N m ³
OGC at 13%O2	39 mg/N m ³
Dust at 13%O2	27 mg/N m ³
空気消費量	22.0 m ³ /h

<T4>スキャン・オーナーズ・トレーニングチェック項目です。薪を入れすぎた状態で使用すると過燃焼になり本体を破損する場合があります。機種により、適切な薪の量が示されています。

3. 薪について

◆最適なサイズの薪を使用する事で、乾燥しやすく、燃料として理想的にご使用いただく事が出来ます。少なくとも 2 種類の薪を用意しましょう。

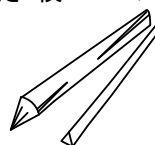
・推奨する薪

<焚き付けの薪>

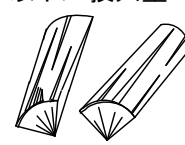
・長さ:20-25cm/太さ:2～5cm/投入量:12～20 本

<通常使用時の薪(割ってある物)>

・長さ:横 25cm/太さ:約 10cm 以下/投入量:1～3 本



細い薪



薪

<注意>薪の投入について

薪が本体手前のガラス面に倒れてこないように注意してください。

4. 各部操作方法

・ フロントドアの開閉

ハンドルを下へ押しフロントドアハンドルを手前に引き(①)、左側へ扉を開けます(②)。閉めるときは扉を押しながらカチッと音が鳴るまでしっかりと閉めます。(Fig. A)

・ クイックベント(焚き付け専用のレバー)

着火後の始動時には、本体正面下部のクイックベントをスライドして空気調整をして下さい。焚き始めはレバーを右側にスライドさせ全開にして焚付けを行い、火勢が強まったら、一旦レバーを左側にスライドさせ全閉します。

通常焚きでは、スライドレンジ 0～30%で調整しながら使用して下さい。(Fig. A)

<注意>

クイックベントは一次燃焼空気調整レバーです。ソフトウッド/燃えやすい薪等を使用して焚き付けられて、火勢が出てきたら、クイックベントは一旦全閉にして下さい。

・ 燃焼調整レバー

通常焚きのとき本体正面下部のレバーをスライドして空気調節して下さい。右にスライドさせると空気量が多くなり、火勢が強まり(高温)、左にスライドさせると空気量が少なくなり、火勢が弱まり(低温)です。通常焚きでは、スライドレンジ 50～70%で調整しながら使用して下さい。(Fig. A)

5. メンテナンスについて

定期的なメンテナンスの際に、消耗品の交換をしましょう。

・ 扉のガスケットの取替え

扉の周囲につけて気密性を保つガスケットは、使用に伴って消耗してきます。扉のガタつきや空気漏れ、ガスケットそのものに「へたり」が見られたら交換時期です。(Fig. B)

- ① ガスケットをはがして、溝にこびりついている耐火セメントをドライバーやワイヤーブラシで取り除きます。
- ② ガスケット専用の接着剤を溝に薄く塗布します。
- ③ 新しいガスケットを、隙間なく押し込みます。常温で3時間以上乾燥させます。

・ ガラスのお手入れ

製品にはエアウォッシュシステムが装備されています。本体上部からガラスの内側に沿って空気が流れます。ある程度の煤は煙突のドラフトや燃焼レバーの調整具合によってガラスに付着しますが燃焼調整レバーが開いている時や炉内で炎が活発に燃えている時に消散します。

通常のクリーニングは、薪ストーブが冷めた状態を確認して、ぬれた布に灰を少つけてガラスを磨きます。最後に乾燥し

た布で拭いてください。

落ちにくい煤や汚れは、ガラスクリーナーを塗布し、乾いた布等できれいに取り除いて下さい。また、ガラスにヒビや割れ等が生じた場合は、直ちに使用を中止して、新しいものと交換して下さい。

・ バーンプレート、バッフルプレートのお手入れ

プレート全体にクレオソート等の汚れが付きますので、気になる場合はブラシ(バーミキュライト素材は傷が付くやすいので注意してください)をかけて汚れを取り除いて下さい。ヒビ割れ、変形が生じた場合は、直ちに使用を中止して新しいものと交換して下さい。そのまま使い続けると、暖炉本体の寿命を縮めます。

6. 温度計について

・ 適正温度

温度計はストーブの運転状態を示す非常に重要な目安となります。この温度計を参考に効率的な運転を行って下さい。温度計の設置位置(Fig. C)は本体トッププレート●印の位置に設置して下さい。※温度はおよそ200℃を目安に運転して下さい。

<注意>

・ 温度計を本体使用時に取り扱う際は温度計が熱くなっています。必ず耐熱製のグローブをご着用下さい。

<その他注意>

・ モジュールに物を置く際は、置いた物が熱による影響を受ける事もありますのでご注意ください。また、モジュール外部に物を置く場合は、少なくとも炉から17.5cm以上離して置いてください。

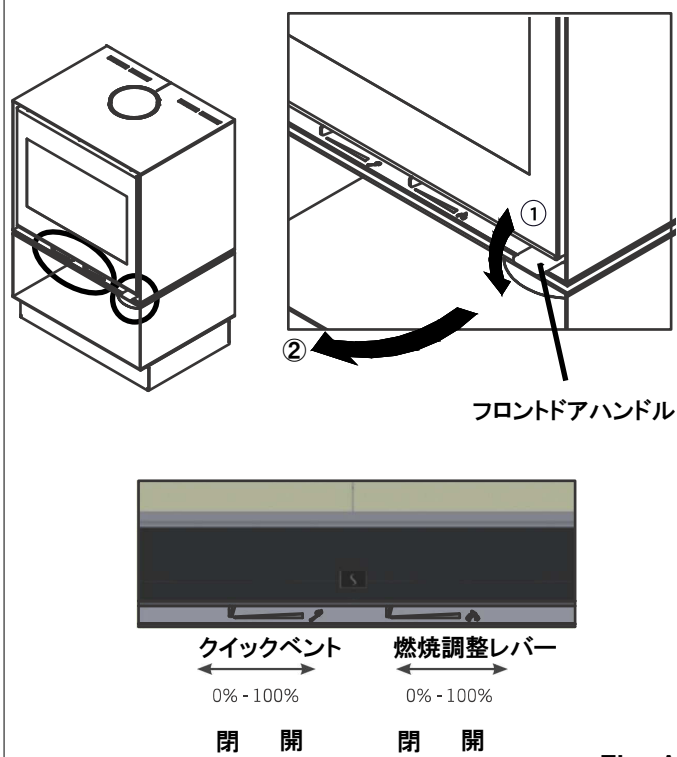


Fig. A

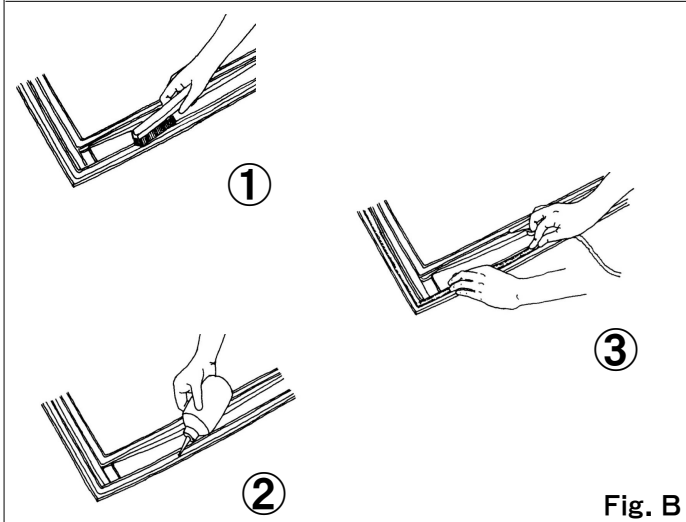


Fig. B

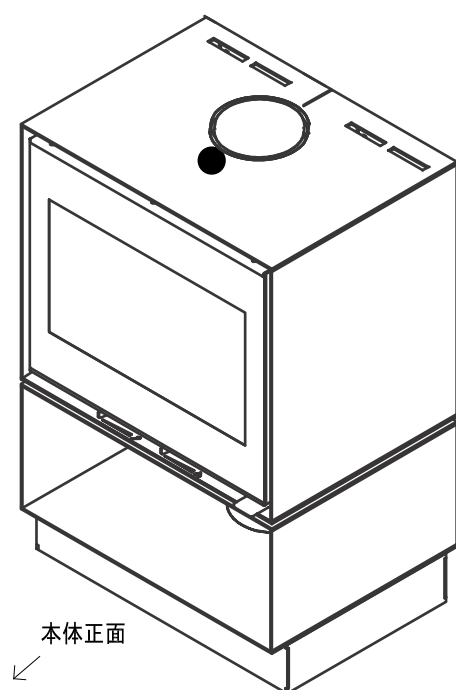


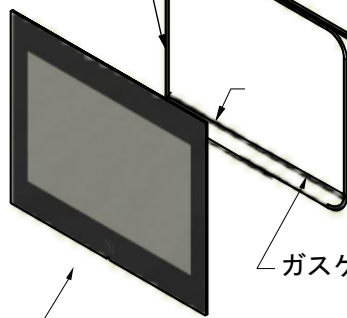
Fig. C

Scan 1003

バーンプレートサイド/リア/バッフルセット

ガスケット(ガラスアッパー用)

ガスケット(ガラス用)

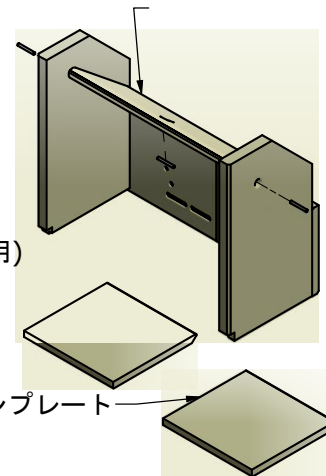


フロントガラス

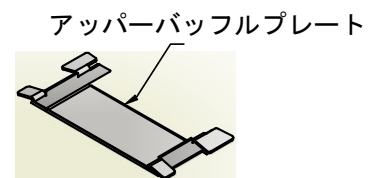


ガスケット(ドア用)

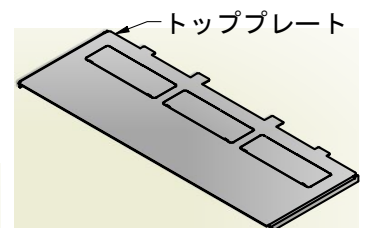
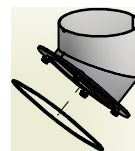
ガラスハンドル
ガスケット(ガラスロア用)



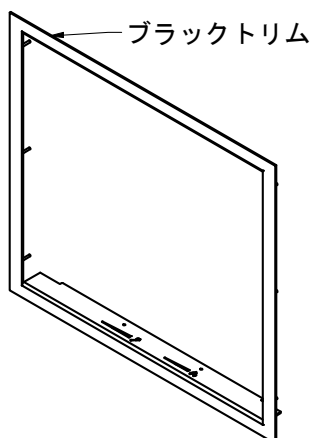
ボトムバーンプレート



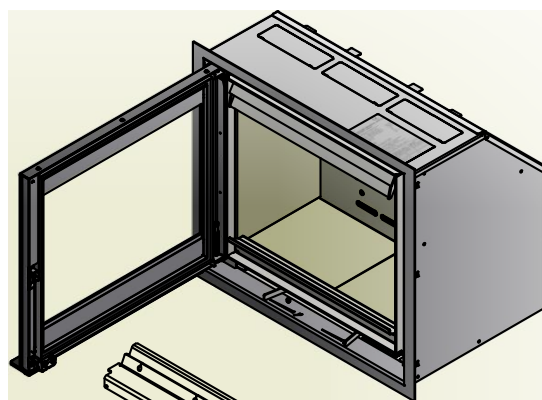
アッパーバッフルプレート



トッププレート



ブラックトリム

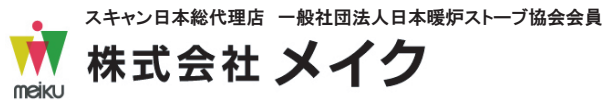


ログガード



コーションラベル

「スキャン・クオリティー・システム」は、正規のスキャン・ディーラーでご購入された製品だけがサービスの対象です。製品には、ご購入時に保証書と一緒にコーションラベルが貼付または同梱されていますので、必ずご確認ください。※スキャン本社の保証規定に従い、正規輸入品のみの保証とさせていただきます。



恵比寿ショールーム
〒150-0011 東京都渋谷区東3-22-8サワダビル7F
TEL.03-6418-4822 FAX. 03-6418-4844

つくばショールーム
〒300-0847 茨城県土浦市卸町2-5-25
TEL.029-841-5147 FAX. 029-843-8421

URL <http://scan-stove.jp>